りーぶるだより

藤里町三世代交流館　図書室
でんわ　79-1327（内線342）

図書室のFacebookも、ご覧ください！！

★利用できる時間は
平日…午前10時～午後6時
土・日・祝祭日
…午前9時15分～午後6時
※土・日・祝祭日は、午後0時から午後1時のあいだは、一時休みます。
★図書はひとり7冊まで、20日間までかりることができます。

「読書週間」始まります！

標語「おかえり、栞の場所で待ってるよ」

終戦まもない1947年（昭和22年）、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）と定められ、この運動は全国に拡がっていきました。

そして『読書週間』は日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことはかわりありません。

暮らしのスタイルに、人生設計のなかに、新しい感覚での「本とのつきあい方」をとりいれていきませんか。

～公益社団法人　読書推進運動協議会ホームページより抜粋～

新着図書

■縁　小野寺史宜
■Iの悲劇　米沢穂積
■極上の罠をあなたに　深井章子
■菊花の仇討ち　梶よう子
■絶望スクール　石田衣良
■罪と祈り　貫井徳郎
■落日　湊かなえ
■ふたりのカリスマ　上・下　江上　剛
■ごめん。　加藤　元
■昭和４０年男　佐川光晴
■穏やかに生きるための人生相談　美輪明宏
■自己肯定感の高め方　石原加受子
■こんがり偏愛レシピ　市瀬悦子
■死んでも床にモノを置かない。　須藤雅子
■かっこいい福祉　村木厚子
■親が知らない子どものスマホ　鈴木朋子
■５０歳から始める！老後のお金の不安がなくなる本　竹川美奈子
■吉祥寺デイズ　山田詠美

ティーンズ（10代におすすめ）

□ぼくたちは卵の中にいた　石井睦美

子どもの本

□もうひとつの曲がり角　岩瀬成子
□モノクローの不思議　齋藤　洋
□モンスター・ホテルでオリンピック　柏葉幸子
□桃太郎は盗人なのか　倉持よつば
□こども六法　山崎聡一郎
□グリドングリドン　宮西達也
□こねこをひろったけどそだててみたら･･･　新井洋行

１０月の夜間開館日「ナイト・ライブラリー」は
31日（木）です。
午後８時まで図書室を利用できます!!

ふじさと人は「こしゃえる」のが得意!

Let's ハンドメイド!!

少しずつ寒さが増し、お部屋にいる時間が長くなってくるこれからの季節、ものづくりにはもってこいですね。

手工芸はもちろん、自作の家具やレゴブロックを使った作品のほか、今話題のジオラマ製作や電子工作まで、さまざまなジャンルの「ものづくり」本を用意しました。どうぞご利用ください。